

六甲山の整備・保全のボランティア活動 第12回「森の世話人」植樹を行いました

白鶴酒造株式会社は、3月28日（土）、国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所が主宰するボランティア「森の世話人」活動の一環で六甲山の整備を行いました。

当日は社員に加えボランティアの方にもご参加いただき、総勢9名で活動しました。これまでは斜面を山側へ刈り進めていましたが、今回は未着手の住吉川に近い西側エリアを活動場所としました。3月とは思えない暖かな陽気の中、鳥のさえずりをBGMにしながら、下草や蔦、表土の保全に適さない樹木などの刈り取り作業を行いました。

整備した敷地には落葉広葉樹のイロハカエデとクマノミズキの苗木を計6本植樹しました。また、今回初めて、生分解性プラスチック製の樹木保護材を使用しました。

これまでに植樹した木々は新芽が見られ、2023年4月に植えた木の中には4mを超えるほど成長しているものもありました。次回には緑に色づいている景色が見られるのが楽しみです。



当社は、2021年12月から「森の世話人」の趣旨に賛同し、灘五郷の酒造りを支える六甲山の整備・保全活動に参画しています。これまで、住吉川上流域の指定区域（約4,500㎡）で年に数回、雑木・雑草の刈り取りを行い、十分に整備が進んだ場所には根が強く土砂崩れを防ぐ働きのある落葉広葉樹の植樹を行っています。

今後も、活動面積を広げながら自然豊かで災害に強い六甲山を目指して活動を継続していきます。

<活動実績>

- 2026年 第12回（3/28）
- 2025年 第9回（3/15）、第10回（4/22）、第11回（11/1）
- 2024年 第8回（12/14）
- 2023年 第6回（4/22）、第7回（12/2）
- 2022年 第2回（2/19）、第3回（2/23）、第4回（4/23）、第5回（12/3）
- 2021年 第1回（12/4）

<植樹内容>

- 2026年3月 6本（イロハカエデ、クマノミズキ）
- 2025年3月 6本（コバノミツバツツジ、ムクノキ、ウリハダカエデ）
- 2024年12月 6本（ミズキ、エノキ、コバノガマズミ）
- 2023年4月 10本（イヌシギ、エノキ、ヤマザクラ）（うち7本根づく）

◆活動の様子



<左を新たに整備・植樹>



<新しい方法で植樹>



<ネザサの刈り取り>



<before>



<after>



<刈り取った草木を運搬>



<植樹する木>



<過去に植樹したヤマザクラ>



<春の気配>

◆自然と調和した酒造りを目指して

もろく崩れやすい花崗岩でできた地質や急峻な地形の六甲山は、住宅街に近く、土砂災害がおこりやすい山でもあります。六甲山で様々な高さの木や草をバランスよく育てることで、表土を守り雨水を涵養（かんよう）します。また、根の強い落葉広葉樹を植えることで、大雨や地震による土砂崩れを防ぎ、様々な生物が集まる豊かな森が生まれます。

当社の北側に位置する六甲山は、酒造りに欠かせない水、寒造りに適した環境をつくり出す六甲凧（ろっこうおろし）など、灘五郷の酒造りにさまざまな恩恵をもたらしてきました。当社は、「森の世話人」として、自然豊かで災害に強い六甲山の森づくりに協力し、自然環境と調和した酒造りを目指します。



◆「森の世話人」活動

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所が主宰する六甲山の保全活動。市街地に近い六甲山地の斜面を樹林帯として守り育て、防災機能の強化と自然豊かな生活環境を確保する「六甲山系グリーンベルト整備事業」への市民・企業の方々の参加を進めています。

https://www.kkr.mlit.go.jp/rokkopr_media/plant/group/index.php

六甲山系グリーンベルト整備事業

https://www.kkr.mlit.go.jp/rokkopr_business/gb/greenbelt-bus.php